UTO ニットだより from Minamiaoyama

VOL.83 2021 夏

コロナ禍で一年以上も不便な日常が続いていますね。
普通の生活のありがたさをつくづく感じます。

ワクチンの接種が始まり、トンネルの出口が見えてきた気がします。
スピードと無駄なくを、工夫してほしいと願うばかりです。

２０１４年から始まったふるさと納税の北上市の返礼品のＵＴＯカシミヤ。
２０～２１年度は過去最高の約２億５千万円の寄附を頂きました。７年間で約１２億８千万円の寄附を頂き、当社はもちろん、お世話になっている北上市に恩返しが出来たことを嬉しく誇りに思います。

訂正とお詫び　先回８２号「青山表参道」青山の古地図散歩（２）の、秩父宮妃の記述は三笠宮妃の間違いです。読者の方からご指摘を受けて気づきました。お詫びし訂正させて頂きます。

【東日本大震災被災者への寄附】

5月18日、岩手工場長の玉澤と高橋が北上市役所を訪ね、高橋市長にお届けしました。

３・１１の年に工場を岩手へ移転し、岩手の企業市民として決めたのが、震災と被災者を忘れない為に、『毎年寄附をする』ことでした。

ふるさと納税１件につき１００円、天使の栞１枚売れるごとに１００円を寄附し、ずっと続けることを自分達で決めました。

天使の栞を購入していただいた皆さま、またふるさと納税をしてくださった皆さま本当に有難うございました。

北上市役所によると、沿岸部から北上に避難しておられる被災者の方々に、寒さの厳しい冬場の灯油代の一部として役立って喜ばれているという言葉を頂いています。

１０回目の今年は、４０万円で合計が約２８３万円になりました。今後も続けていきたいと思っています。

【岩手経済研究所】

２０２１年４月号の「岩手のアパレル産業の現状と展望」に、弊社が掲載されました。

【そもそもニットって何ですか?】

人間が着用する衣類のほとんどは、織物か編物ですね。

織物を織るには、機織りに代表されるように、縦糸に横糸を渡しながら織るので『格子状』になって『伸び縮みがしません』。ということは安定した布が出来るのです。

ニットは編物でその代表が手編みですが、編み棒に糸をひっかけてループ状の編地を作っていきます。ループの連なりですから織物に比べればスカスカですが伸び縮みがする編地が出来ます。この伸び縮みがニットの最大の特徴で、セーター等は着ている時に体の動きに合わせて伸び縮みするので着心地が良いのです。

生地が伸びるのがニット、伸びない織物。

セーターなどがニットの代表ですが、Ｔシャツやソックスなどもニットの一種です。

【青山・表参道界隈】

UTOはこんな街から発信しています

日赤医療センター

お世話になりました最寄りの病院

青山通から骨董通りに入り当社の前を通り過ぎて六本木通りにぶつかります。地下道で六本木通りをくぐり狭い通りを5分ほど歩くと日赤医療センターです。ＵＴＯから歩きで１０分ちょっと。ここは日本に沢山ある日本赤十字病院のいわば本店ですね。

一帯には日赤医療センターと日本赤十字看護大学があり、お隣は聖心女子大。そして東側は広尾ガーデンヒルズという高級マンションがある広大な敷地です。戦前ここは昭和天皇の皇后さまの実家の久爾宮邸で、江戸時代は下総佐倉藩主堀田家の下屋敷だそうです。

外苑西通りから一段の高台で、ここへ上る狭い急阪は今でも屋敷主の堀田を取って堀田坂と言われています。地図にも堀田坂とあります。

堀田家は戦国武将としての戦功より、徳川幕府になって3代将軍家光に取り立てられてから出世したようです。それにしても譜代で１１万石は凄い出世です。

川越藩、松本藩から初代佐倉藩主になり徳川幕府の中で老中などの要職につき、幕末期には老中阿部正弘の後を継ぎ開国時の老中として外国との交渉を指揮しましたが、大老に就任した井伊直弼と対立し失脚します。しかし明治になって堀田家は伯爵を授かっています。

この日赤医療センターには昨年から今年はじめ、夫婦で大変お世話になりました。

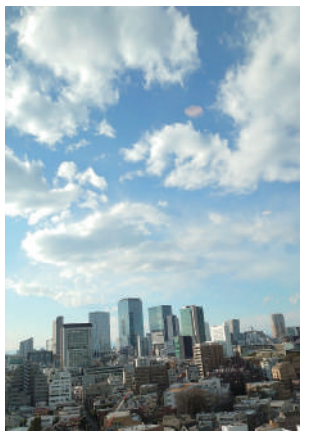
１１月に１泊２日の検査入院で癌が判明し、年が明けて前立腺の全摘手術を受けました。

病室は今回も１０階でしたが、たまたまコロナで延期になっていたカミさんの人工関節の手術と重なってしまい、先に手術入院していたカミさんも１０階という奇遇でした。

夫婦２人住まいなので同時入院は好都合でしたが、期間中はコロナ禍で面接禁止の為に同じフロアーでも逢うことは出来ず不足のものを看護師さんにもってきて頂くことになる始末。看護師の皆さんたちの間では夫婦での入院が話題になっていたらしく、「何かお奥さんにお使いありませんか?」と心配されたり、面白がられたりでとっても親切にしてもらいました。

病室からは渋谷の高層ビル群と遠く富士山が見え、眺めが抜群でした。朝焼けのビル群と富士山。夜の灯り渋谷のビル群の明り。雲一つない青空。風雨が窓に打ち付ける嵐の一日。

点滴や排出管に繋がれたまま、ベッドから見る景色にどんなに癒されたことか。



シルク100%　メンズ

チェック柄クルーネックプルオーバー

1232-1402 ￥38,500（税込）

前見頃にニットらしい“チェック柄”をデザインしました。控えめな光沢のある絹紡糸がカジュアルな柄を上品に引き立て、洗練された遊び心あるニットです。
しっとりとした肌触りの優しいセーターです。
ご自宅でお洗濯が可能ですので、汗ばむ季節でも安心してお召しいただけます。

カシミヤ100%

スロンティングストール　ミドル

1312-3355 ￥35,200（税込）

単糸で編まれた生地はとても薄く、軽く、柔らかく“さらっと”着用頂けます。
カシミヤ素材は吸水性が高いため夏でも汗で蒸れにくく、春夏にぴったりのストールです。

カシミヤ100%

レッグウォーマー　リブ編み

1312-3330 ￥10,780（税抜）

こだわりの最高等級カシミヤ糸を甘めに編み、とっても軽くて柔らかくて優しい肌触りのレッグウォーマーです。
冷房で冷える足元をふわりと包みます。
ゆったりした編立で、締め付け感が苦手な方にお勧めのデザインです。
蒸れにくく、お手入れが簡単ですので清潔にお使いいただけます。

株式会社ユーティーオー　〒107-0062 東京都港区南青山 5-4-35たつむら青山607　TEL: 03-3498-2230 FAX:03-3498-2406　E-mail : info@uto-knit.com URL:www.uto-knit.com

カシミヤとニットの話　＊　（六十九）

世界一のカシミヤニットを作りたい（一）

世界最高峰のカシミヤを求めて、中国の秘境・アラシャンへ

『カシミヤに関しては日本一と自他共に認め、創業３３５年を迎えて、伊勢丹と合併することになった三越として、アラシャンで獲れた世界一のカシミヤ原料で、世界でも例を見ないニットのセミオーダーをやりたいので是非協力して欲しい』、というお話を持ってきてくださったのは三越百貨店商品本部の石井さんと田村さんで、２００７年秋のことでした。

そのときに石井さんが持参されたのがアラシャンの糸で、『エェ-アラシャン１００％ですか？』と聞き直してしまいました。カシミヤのプロの間では世界一と評される原料で、この糸を手配されたのがリシンドージャパンという会社でした。

『これが実現したら、それこそ世界一のセーターが出来るゾ！』と、カシミヤのＵＴＯとしては願ったり叶ったりのお話を二つ返事でお受けしました。

カシミヤは巷で混率問題が出るほど魑魅魍魎が跋扈する世界で、本当に信頼出来る人と取引しないと後々とんでもないことが起こりかねないのがこの世界です。ましてやＵＴＯはカシミヤが本業ですから問題が起こると倒産の危機になりかねないので慎重に慎重にお話を伺います。お話をお聴きすると３人とも業界では超ベテランの面々でとても信頼のおける人たちでした。

カシミヤ関係の日本人として始めて現地の阿拉善（アラシャン）に行って、カシミヤの原毛の収穫から糸が出来上がるまでを自分達の目で確かめ、カシミヤの毛の収穫から製品までトレーサビリティが判る物づくりを実現しようということになりました。

現地訪問に私にはもう一つ秘かな目的が有りました。それは「カシミヤの飼育の中でカシミヤへの虐待がないか？」でした。

それは、カシミヤを本業として世界一のカシミヤメーカーを目指すには、「カシミヤと人間はウィンウィンの関係でないといけないと思っていたからです。あり得ないと思いつつも、もし万が一人間がカシミヤを虐待してカシミヤの毛を得ていたら、本当に残念だけどカシミヤを諦めざるを得ないと思っていたからです。

それはチベットのチルーという動物と人間の悲しい歴史を聞いたことに起因します。それを教えてくれたのはケケン（一般財団法人ケケン認証センター）の木村さんでした。

チルーはチベットの高地に住むウシ科の動物で、カシミヤより細い毛を持った動物です。家畜化が出来ずチベットの標高３千メートル以上の高地の自然界で生息します。その毛で作られたシャトーシュというスカーフは世界最高のウールとされていますが、その毛を得るにはチルーを殺して毛を採取するのです。その為に２０世紀はじめ頃には１００万頭も生息していたのが今では７万５千頭しかいなくなり絶滅危惧種になりワシントン条約で採取が禁止されているのです。

初めて本物のカシミヤに会える期待と、万が一カシミヤの虐待という場に遭遇したらという不安を抱えての旅立ちでした。つづく

お勧め
早めの検診

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

「まずは血液検査をやってみましょうか」という掛かりつけの先生の勧めではじまり、１週間後に結果が出て、「psa 値が高く前立腺癌の疑いが高い」と、先生の表情が曇りました。

「大きな病院で検査した方が良いので、知ってる病院はありますか？」

「日赤は以前尿管結石で。診察券も持ってます」。

「じゃあ日赤にしましょう」と、その場で先生が予約を取ってくださる。親族で癌は誰もいないし、調べればきっと杞憂に終わると思い込んでいました。

２週間後、今度は日赤医療センターで、血液、尿、Ｘ線検査を済ませて泌尿器科へ。

担当の先生からは、前立腺癌にほぼ間違いないということで生体検査手術を勧められます。前立腺癌は進行が遅いけど転移の恐れがあるので早い方が良いということで手術検査入院を決めました。

検査でも生れてはじめての入院。工場のような広い手術フロアーは好きなモーツアルトの曲。麻酔科チームの素早さに驚き、すぐに眠る。

・・・。病室で目覚める。生きてる！と一瞬思う。何カ所も管に繋がれ、エコノミークラス症候群予防のフットポンプで足をもまれて全然眠れない。睡眠薬を貰えばよかった。結果は２週間後。「配偶者か親族の方と来てくださいね」

カミさん同行で病理検査の結果を聴く。やはり癌がある。治療方法と前立腺全摘手術の詳しい説明。要は、治療は時間がかかり、全部取れば転移の心配は無くなる。「それなら全摘出を」即お願いする。先生は驚き顔でカミさんに確認。僕より単純なカミさんもその方が良いとすぐに賛成。同席の癌患者支援の看護師さんが「癌の宣告を受けられて、大丈夫ですか？」聴いて下さるが、全然ぴんと来ない。「覚悟を決めて先生にお任せします。早く終わらせたいし」「癌告知を受けてそんなにさばさばな患者さんご夫婦は珍しいです」と驚かれる。我が家は元々危機感がないのかも。

手術本番当日、先回と同じ工場のような手術フロアーへ。今日はジブリの曲だ。皆さんに挨拶し先生と握手。先生はロボット腹腔鏡手術の専門家。全幅の信頼でお任せだ。手術台で一瞬、『もしこれで死んでも俺は結構いい人生だった』という思いがよぎる。と思うと気が楽になる。てきぱきの麻酔チーム。全身麻酔で気持ちよく眠る。・・・。

「ウトさん終わりましたよ！」で手術から目覚め、病室へ。「手術は成功ですから安心してください」と先生と妹の声が聞こえる。また眠ったようだ。

想い出のホテルを旅する（六十九）

元、旅行屋のお勧め　ハワイ・ＵＳＡ

クイリマ　ホテル

ハワイと言えばまず思い浮かべるのが、明るい陽射し、爽やかな風、静かな波、白い砂浜とダイアモンドヘッドというワイキキビーチなどですね。

今回はそのイメージと全く違う経験をしたオアフ島ノースショアに建つリゾートホテルです。

１９７８年に添乗で泊まったのですが、「ハワイでもワイキキではない処へ行ってみよう」ということで決まったのが、オアフ島の最北端にあるクイリマという名前のリゾートです。

クイリマはオアフ島最北端でオアフ島を縦断します。空港からすぐにＨ１というフリーウェイを走り驚きました。それまで３～４回のハワイの経験では、ワイキキ中心の観光でしたのでフリーウェイを走ることはなく、もちろんアメリカ本土には行ったことはありません。ハワイはアメリカ合衆国の一つの州と言っても太平洋に浮かぶ島というイメージを持っていたので、片側３車線、両側６車線のフリーウェイに多くの車が猛スピードで走っている光景に驚きアメリカを再認識しました。

途中の風景にも驚かされました。

一見乾いた平べったい広大な土地も私のそれまでのハワイのイメージとは全くかけ離れ、赤土の広大なパイナップル畑。途中で小休止したドールのパイナップルプランテーションで振舞われた取れたてのパイナップルのみずみずしく甘いこと。喜びというよりショックでした。

クイリマは１９７２年に出来たタートルベイヒルトンという名前で、田中・ニクソンの日米首脳会談が行われた豪華ホテルです。

上空から見たら、太平洋に突き出した岬の先端に三枚羽のプロペラのような形のホテルの建物が建ち、ホテルの回りが広大なゴルフ場という隠れ家的なリゾートです。

ホテル裏側、岬の先端に回ると優雅なワイキキとは大違い、黒いごつごつした岩、漆黒の海、大きなうねりで襲ってくる波。岩に砕ける飛沫はハワイとは思えない荒々しいく、太平洋の中に浮かぶ絶海の孤島を想像してしまいます。

風が強く、思うようにいかないショットとスコアーにゴルフ初心者のお客様は、「やっぱりワイキキが良いや！」と早々に退散し、翌日から泊まることになっている日程にほっとした経験があります。隠れ家リゾートはまだ早かったようです。